

Hotな白石の人

50年の永きにわたり助産師活動に尽力されました

佐藤 貞子さん

一昨年の11月17日、50年の永きにわたる助産師としての活動を評価され、厚生労働大臣の表彰を受けたのが、大平在住の佐藤貞子さんです。

半世紀の間に数え切れないほどの出産に立ち会い、これまでに白石市の人口の約半分に当たる2万人に及ぶ赤ちゃんを取り上げてきたと話す佐藤さん。出産時の介助から産前・産後の母子のケアまで、困難な務めを果たしてきた佐藤さんにお話を伺いました。

●なぜ助産師を志されたのですか？

若い時から将来は人のために役に立つ仕事に就きたいと思っていました。特に、出産や産前・産後のさまざまな悩みや問題に直面した母子のお手伝いをしたいという思いが強く、看護師や養護教諭なども経験しましたが、最終的に助産師を終生の仕事として選びました。

●活動されている中で苦労したことや、逆に良かったと感じることは何ですか。

劇的な場面に立ち会うことが多い仕事だけに苦労話は絶えません。長年この仕事を行ってきましたが、夜中に電話がかかってくるのは日常茶飯事で、睡眠時間が3時間の日が続いたこともしばしばありました。

乳幼児には大人の理屈は通用しません。その分ご家族の悩みは尽きず、困った状況に直面したお母さんなどはすがのような思いで連絡してきました。それだけに、私も本気になって相



▲昭和50年ごろ、勤務先の朝倉医院にて同僚とともに(中央が佐藤さん)



▲訪問指導で訪れた家庭で赤ちゃんを抱く佐藤さん

談に応じてきましたし、問題が解消されたときの喜びもひとしおでした。少ない睡眠時間の生活を送る中で健康を保ち、長い間この仕事を続けることができたのは、やはりこういった情熱と使命感、そして充実感があったからであり、また、亡き朝倉松雄先生、そして朝倉病院と一緒に働いた皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

●後輩の助産師さんや市民の皆さんへのメッセージをどうぞ！

出産の立ち会いは非常に感動的で、元気に泣く赤ちゃんを取り上げたときというのはとてもうれしいものです。同時に、最近増加傾向にあるマタニティーブルー(産後鬱)の問題など、デリケートな側面を多く持った仕事ですので、現在助産師として活躍されている方には、こういった問題に十分配慮して仕事に臨んでいただければと思います。

私はこれまで、助産師として数多くのご家族のお手伝いをしてきましたが、同時に私自身も多くのご家族に支えられてきたと感じています。これらの皆様に深く感謝しますとともに、子育てに悩む多くのお母さんたちを救えるよう、後輩の助産師の皆さん、頑張ってください。



▲厚生労働大臣よりの表彰状を手に

チビッコ美術館



「ホタルブクロの花」



やま もと
山本 ありさん
(斎川小・3年)

わが家のアイドル

ママからひとこと
元気に生まれてきてくれて
ありがとう!
これからも明るく、
元気に育ってね!

パパからひとこと
大きくなったら
一緒にサッカーしようね。

小室

いつき
樹ちゃん

※我が家のアイドルを募集中!
詳しくは総務課広報聴係
(☎22-1331)へ

直人さん、祐子さんご夫妻の長男(鷹巣)

白石の風景50選



「平成の鉄砲隊」(撮影場所:白石城) 遠藤 篤志さん(大川町)

5月は 固定資産税(1期) 軽自動車税 の納期です

「夜間納税総合窓口」開設のお知らせ

市で取り扱うすべての税金・料金を納入できるようになりました。仕事などでお忙しい方、ぜひ利用ください。

- 日時 5月31日(水)・6月1日(木)
17:30~19:30(市税は、17:30~20:00)
- 場所 市庁舎1階 収納管理室ほか

市の木	市の花	市の鳥
ブナ	ヤマブキ	ウグイス